

投稿機能 準備チェックシート

「投稿」が使えるようになる日までに準備し、最初の3本を出すところまで使う7枚

この7枚でできること

- ☐ 自分のアカウントで、いつから使えるかを確認められる
- ☐ 配信で送るものと投稿で出すものを、業種の例から決められる
- ☐ 最初の3本を、直せない失敗をせずに下書きまで作れる
- ☐ 初回の手続きを、管理者にそのまま頼める

使う順番

2ページで使える時期と戻れないことを読む → 6ページの5つに担当者と期日を書く → 3～4ページで出し分けを決める → 5ページで最初の3本を下書きにする → 7ページの順番で公開する。初回の手続きが管理者しかできないので、運用を人に任せている方は先に7ページの依頼文を送ってください。

目次

2	使える時期の確認と、戻れないことの一覧 自分のアカウントの確認め方、初回の手続き、あとから直せない8つ
3	配信と投稿の出し分け 業種別の例（1） 配信で送るもの、投稿で出すもの、書き出し、最後の1行を6業種
4	配信と投稿の出し分け 業種別の例（2） 同じ形でさらに6業種。自分の店に近いものを写す
5	最初の3本の下書きシート タイプ、写真、本文、最後の1行、公開の設定を1本ずつ書く
6	10月21日までの5つと、VOOMの後始末 担当者と期日を書く表、投稿し直すものを選ぶ表、実績の控え
7	入稿規定の早見、公開前の確認、管理者への依頼文 タイプごとの決まり、下書きから公開までの順番、そのまま送れる文

日付と決まりの出どころ

この資料の日付、入稿の決まり、画面の項目名は、LINEヤフー公式のお知らせとLINE公式アカウントのマニュアルに2026年9月26日時点で書かれていたものだけです。日程はすでに1回延期されていて、公式にも「日程は変更になる場合があります」と書かれています。10月21日も予定として扱い、作業の前に管理画面で「投稿」が出ているかを確認してください。投稿の頻度や表示される回数の目安は、公式から出ていないため載せていません。

1. 自分のアカウントで使えるか

アカウント	使えるようになる日
認証済アカウント	2026年9月16日から順次（一部は10月21日から）
すべてのアカウント	2026年10月21日から（予定）

管理画面の「ホーム」の中に「投稿」が出ていれば使えます。

確かめた日	月 日
「投稿」の表示	☐ 出ている ☐ まだ出していない
管理者の名前	

2. 初めて使う日の手続き（管理者だけ）

- ☐ 「ホーム」から「投稿」を開く
- ☐ 利用規約を確認し、「利用規約に同意する」にチェックを入れる
- ☐ 「同意して利用を開始する」を押す
- 運用担当者や配信担当者の権限では進められません。誰が管理者かは「設定」の「権限管理」で確かめられます。

3. 出る場所は2つ

LINEアプリの「ホーム」タブ → 投稿すれば必ず出るわけではなく、LINEヤフーの基準で表示が決まります。

ビジネスプロフィール → 10月21日のリニューアル以降に出るようになります。

4. やってしまふと戻れないこと 8つ

#	戻れないこと	区分	防ぎ方
1	公開した投稿は中身を直せない	戻れない	直せるのは下書きだけ。必ず一度「下書き保存」を押してから見直す
2	予約済みの投稿も中身を直せない	戻れない	予約を解除しても中身は直らない。誤字に気づいたら削除して作り直す
3	非公開にした投稿も中身を直せない	戻れない	非公開は公開に戻せるだけ。直すときは作り直す
4	途中でタイプを変えると入力中の内容が消える	消える	書き始める前にタイプを決める（5ページの1）
5	LINE VOOMの投稿は「投稿」へ引き継がれない	移せない	残したいものは、提供が来てから作成画面で投稿し直す（6ページ）
6	生成AIで作った画像や動画は申告が必要	必須	作成画面の「AIで生成したコンテンツ」にチェック。任意ではない
7	公開が止められた投稿は、予約していても自動で公開されない	注意	大事な告知は、公開の時刻を過ぎたら管理画面で状態を見る
8	10月21日にプロフィールの「最近の投稿」パーツが廃止され、載せていた画像や動画は引き継がれずに消える	消える	残したい画像と動画は、10月21日より前に手元へ保存する

配信と投稿の出し分け 業種別の例（1）

そのまま写して置き換える

今すぐ動いてほしいことはメッセージ配信、知っておいてほしいことは投稿、と分けた例です。記事で見せた美容室の分け方を12業種に広げました。自分の店に近い例を選び、〇〇と中身を自分の店のものに置き換えてください。

美容室 タイプ → メディア投稿（写真3枚）

配信で送る	来週の空き枠、雨の日クーポン
投稿で出す	新しく入れたカラー剤の紹介
書き出し	今月から〇〇というカラー剤を使い始めました。色落ちしたときの色味の違いを、同じ髪で並べて撮っています。
最後の1行	予約はリッチメニューの「予約する」から

飲食店 タイプ → ショート動画投稿

配信で送る	今日のランチの残り数、雨の日の特典
投稿で出す	定番メニューの仕込みの様子
書き出し	〇〇の煮込みは、前日の夕方から仕込んでいます。鍋の中を少しだけお見せします。
最後の1行	友だち限定のクーポンは、トークでお送りしています

カフェ タイプ → メディア投稿（写真3枚）

配信で送る	季節の限定メニューの開始日
投稿で出す	お店の席と雰囲気の紹介
書き出し	窓ぎわのカウンター、奥のソファ席、テラスの3か所です。作業をしたい方には奥の席が静かです。
最後の1行	混み具合の質問は、トークでお気軽にどうぞ

パン屋 タイプ → メディア投稿（写真2枚）

配信で送る	焼き上がりの時刻の変更、売り切れの連絡
投稿で出す	定番パンの材料と食べ方
書き出し	いちばん聞かれる〇〇パンの食べ方です。買った翌日は、軽く温めると焼きたてに近くなります。
最後の1行	取り置きはトークで前日まで受け付けています

整体院 タイプ → テキスト投稿

配信で送る	今週の予約の空き
投稿で出す	よく聞かれることへの答え
書き出し	「1回で良くなりますか」と、初めての方によく聞かれます。当院の考え方を書きました。
最後の1行	初めての方の予約はリッチメニューの「予約する」から

ネイルサロン タイプ → メディア投稿（写真4枚）

配信で送る	直前のキャンセルで空いた枠
投稿で出す	今月のデザインの紹介
書き出し	今月のデザインを4つ並べました。短い爪でも映えるものを選んでいきます。
最後の1行	デザインの相談はトークで受け付けています

どの業種も架空の店の例です。書き出しは1回あたり写真3枚と文章300字くらいを目安に、続きを自分の店の言葉で足してください。配信で送るものは、送りすぎるとブロックが増えます。急がない話を投稿へ移すと、配信の回数を増やさずに伝える量を増やせます。

配信と投稿の出し分け 業種別の例（2）

そのまま写して置き換える

続きの6業種です。投稿の最後には、見た人に次にしてほしいことを1行だけ書きます。投稿は友だちでない人の目にも触れる可能性がある場所なので、トークやリッチメニューへ運ぶ1行にします。

学習塾 タイプ → メディア投稿（写真3枚）

配信で送る	体験授業の申し込みの締め切り
投稿で出す	教室の様子と講師の紹介
書き出し	〇〇教室の自習室と、数学を担当している講師を紹介します。初めての方が不安に思うところを先にお見せします。
最後の1行	体験授業の申し込みはリッチメニューから

英会話教室 タイプ → ショート動画投稿

配信で送る	無料体験の残り枠
投稿で出す	レッスンの進め方の説明
書き出し	1回のレッスンがどう進むのかを、最初から最後まで短くまとめました。
最後の1行	体験レッスンの予約はトークでどうぞ

リフォーム店 タイプ → メディア投稿（写真4枚）

配信で送る	見積もり相談会の日程
投稿で出す	工事の前と後の写真
書き出し	〇〇市で浴室を交換したお宅の、工事の前と後です。工事中に気をつけたことも書いています。
最後の1行	見積もりの相談はトークで受け付けています

写真スタジオ タイプ → メディア投稿（写真5枚）

配信で送る	七五三の予約の受付開始
投稿で出す	衣装の紹介
書き出し	今年入った衣装を5着紹介します。お子さんの年齢ごとに、選ばれることが多いものです。
最後の1行	撮影の予約はリッチメニューの「予約する」から

ペットサロン タイプ → メディア投稿（写真2枚）

配信で送る	今週のトリミングの空き
投稿で出す	スタッフの紹介
書き出し	トリミングを担当している〇〇です。初めて預ける方が気にされることを、私から先にお伝えします。
最後の1行	初めての方の相談はトークでどうぞ

花屋 タイプ → メディア投稿（写真3枚）

配信で送る	母の日の注文の締め切り
投稿で出す	今週入った花の紹介
書き出し	今週は〇〇が入りました。長く楽しむための水の替え方も添えておきます。
最後の1行	置き置きと配達の相談はトークで受け付けています

どの業種も架空の店の例です。書き出しは1回あたり写真3枚と文章300字くらいを目安に、続きを自分の店の言葉で足してください。配信で送るものは、送りすぎるとブロックが増えます。急がない話を投稿へ移すと、配信の回数を増やさずに伝える量を増やせます。

最初の3本の下書きシート

書いたら、そのまま作成画面に打ち込む

記事のおすすめは、お店や会社の紹介、定番の商品やメニューの紹介、よく聞かれることへの答えの3種類です。1本目から3本目に1つずつ当てると、見に来た人が最初に知りたいことがそろいます。

1本目 テーマ _____ 公開予定日 月 日

- ☐ タイプを決めた 書き出し（何の話を1～2文で）
☐ メディア ☐ ショート動画 ☐ テキスト _____
- ☐ 大事なものを画像の中央に寄せた _____
- ☐ 動画のサムネイル（1対1）を用意 最後の1行（次にしてほしいこと） _____
- ☐ AIで作ったものは申告にチェックした _____
- ☐ 下書き保存して、もう一人が見た 公開の設定 → ☐ すぐに公開 ☐ 予約投稿（ 月 日 時） _____

2本目 テーマ _____ 公開予定日 月 日

- ☐ タイプを決めた 書き出し（何の話を1～2文で）
☐ メディア ☐ ショート動画 ☐ テキスト _____
- ☐ 大事なものを画像の中央に寄せた _____
- ☐ 動画のサムネイル（1対1）を用意 最後の1行（次にしてほしいこと） _____
- ☐ AIで作ったものは申告にチェックした _____
- ☐ 下書き保存して、もう一人が見た 公開の設定 → ☐ すぐに公開 ☐ 予約投稿（ 月 日 時） _____

3本目 テーマ _____ 公開予定日 月 日

- ☐ タイプを決めた 書き出し（何の話を1～2文で）
☐ メディア ☐ ショート動画 ☐ テキスト _____
- ☐ 大事なものを画像の中央に寄せた _____
- ☐ 動画のサムネイル（1対1）を用意 最後の1行（次にしてほしいこと） _____
- ☐ AIで作ったものは申告にチェックした _____
- ☐ 下書き保存して、もう一人が見た 公開の設定 → ☐ すぐに公開 ☐ 予約投稿（ 月 日 時） _____

頻度の決め方（3か月続けられる回数から）

週に ____ 回 × 13週 = 3か月で ____ 本

____ 本 × 写真3枚 = 3か月で用意する写真 ____ 枚

週3回で始めて1か月で止まるより、週1回を3か月続けるほうが、見に来た人に「ちゃんと動いているお店だ」と伝わります。止まった投稿欄は、何もない状態より印象が悪くなります。頻度の正解は公式から出ていません。

10月21日までの5つと、VOOMの後始末

担当者と期日を書いて、終わったら丸を付ける

#	やること	担当者	期日	済
1	管理者が誰かを確かめる 初回の手続きは管理者しかできない。任せている相手が管理者でなければ、提供が来た日に誰が手続きするかを決める			
2	VOOMから残すものを選ぶ お店の紹介、定番の商品、よく聞かれることの3種類から選び、画像と文章を手元に保存する			
3	VOOMの実績を控える LINE VOOM Studioで、どの投稿がよく見られたかを書き出す。見られる期間は「一定期間」としか書かれていない			
4	最初の3本を下書き用に作る 中央に寄せた画像、ショート動画のサムネイル、AIの申告。5ページのシートで3本ぶん			
5	プロフィールの変更に合わせて見直す 10月21日に「最近の投稿」パーツが廃止され、画像や動画は引き継がれずに消える			

投稿し直すものを選ぶ表

LINE VOOMは2026年9月30日で提供を終えると発表されていました。VOOMの投稿を「投稿」へ移す機能はありません。季節が過ぎたキャンペーンや終わったイベントの告知は移しても意味がないので、3種類に当てはまるものだけ残します。

VOOMで出していた投稿（何の話か）	手元の画像・文章の置き場所	種類	判定
		☐ 紹介 ☐ 定番 ☐ 質問	☐ 残す ☐ 残さない
		☐ 紹介 ☐ 定番 ☐ 質問	☐ 残す ☐ 残さない
		☐ 紹介 ☐ 定番 ☐ 質問	☐ 残す ☐ 残さない
		☐ 紹介 ☐ 定番 ☐ 質問	☐ 残す ☐ 残さない
		☐ 紹介 ☐ 定番 ☐ 質問	☐ 残す ☐ 残さない

VOOMの実績の控え（LINE VOOM Studioで見られるうちに）

よく見られた投稿	出した時期	見られた数	新しい投稿で生かすこと

入稿規定の早見、公開前の確認、管理者への依頼文

項目	メディア投稿	ショート動画投稿	テキスト投稿
ファイル数	画像と動画を合わせて20個まで	動画1本だけ	なし
画像	JPG・PNG・GIF。10MBまで	サムネイル画像のみ。JPG・PNG。10MBまで	なし
動画	MP4・MOVなど。500MB・20分まで	MP4・MOVなど。500MB・20分まで	なし
推奨の比率	画像は9対16から16対9まで5種類	動画は9対16、サムネイルは1対1	なし
文字数	10,000文字まで	10,000文字まで	10,000文字まで

メディア投稿の画像は、真ん中を基準に切り抜かれることがあります。ショート動画はサムネイルを設定しないと、最初の1コマがそのまま表紙になります。

公開までの順番（毎回この順で）

- ☐ 「下書き保存」を押す
- ☐ もう一人に見てもらう。一人なら時間を空けて自分で見直す
- ☐ 問題がなければ「すぐに公開」か「予約投稿」
- ☐ 予約した告知は、公開の時刻を過ぎたら管理画面で状態を見る

「投稿」のページには、テスト配信にあたる機能の説明がありません。確かめられるのは下書きの段階だけです。

つまづいたときの見分け方

- メニューに「投稿」が出ない → 提供がまだ来ていません。認証済でも一部は10月21日からです。
- 公開後に誤字に気づいた → 直せません。削除して作り直します。
- プロフィールの「投稿」ボタンがない → VOOMへ移動するボタンで、9月16日に自動で消えました。新しい「投稿」がプロフィールに出るのは10月21日のリニューアル以降です。

管理者への依頼文（運用を担当者や外部に任せている場合）

件名 → LINE公式アカウントの「投稿」機能の初回手続きのお願い

〇〇さん
お疲れさまです。〇〇です。

LINE公式アカウントに新しく「投稿」機能が入ります。初めて使うときに利用規約への同意が要り、この手続きは管理者の権限を持つ人しかできません。管理画面で「投稿」が出たら、次の3つをお願いできますか。

- 管理画面の「ホーム」から「投稿」を開く
- 利用規約を確認し、「利用規約に同意する」にチェックを入れる
- 「同意して利用を開始する」を押す

すべてのアカウントで使えるようになるのは2026年10月21日の予定です。済んだら一言ご連絡ください。投稿の作成はこちらで進めます。

作業まで任せたい方へ 投稿の企画や写真選びまで相談したい方は、この公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。